

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2022-1005	利用 形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象:三世代コホート調査参加者 妊婦、児及び家族 約22,000組 試料:なし 情報:調査票情報、検体検査情報、カルテ転記情報、妊娠高血圧症候群の病型分類、乳幼児健診情報、母子健康手帳情報、SNPアレイ情報	
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	京都大学	
研究題目	妊娠高血圧症候群の疾患リスク予測の遺伝・環境要因の探索と秘密計算の研究			研究期間	2022年7月～2025年3月	
TMM 実施責任者	荻島 創一	所属	東北メディカル・メガバンク機構		職位	教授
共同研究機関 実施責任者	奥野 恭史	所属	京都大学大学院医学研究科		職位	教授
研究目的と意義	妊娠高血圧症候群を対象として疾患リスク予測を行うための遺伝因子や環境因子を探索し、遺伝因子や環境因子を秘匿したままリスクを予測するアルゴリズムを開発する。					
研究計画概要	本研究では、東北大学東北メディカル・メガバンク機構と京都大学間での共同研究契約に基づき、三世代コホート調査により収集された調査票情報、検体検査情報、カルテ転記情報、妊娠高血圧症候群の病型分類、乳幼児健診情報、母子健康手帳情報ならびに、収集された血液・唾液試料からシーケンシングされたSNPアレイ情報について、東北大学東北メディカル・メガバンク機構のスーパーコンピューターを使用して、妊娠高血圧症候群を引き起こす遺伝因子や環境因子を探索する。また、妊娠高血圧症候群のリスク予測のアルゴリズムを、データを秘匿した状態で計算することができる技術である秘密計算の手法を用いて開発する。					
期待される成果	本研究により、妊婦が自らの遺伝情報や生活習慣を秘匿したまま、自らの妊娠高血圧症候群のリスクを知ることができ、医師も早期に妊娠高血圧症候群の高リスク群として周産期医療を行うことができることが期待される。					
これまでの倫理 審査等の経過	2022年7月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認(中央一括審査)					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	研究の遂行にあたっては、人を対象とする生命科学・医学系研究の倫理指針及び別途締結する研究契約を遵守して実施する。 利用する試料・情報は、ToMMoスーパーコンピュータ内で限られた研究者のみがアクセス可能な環境で利用される。					
その他特記事項	京都大学医学研究科研究費					

※公開日 令和4年9月12日